

平成19年4月24日

新宿区長殿

法人名 特定非営利活動法人
 東京都中途失聴・難聴者協会
 所在地 新宿区新宿 2-13-11-1003
 (フリガナ) タカオカ タダシ
 代表者氏名 理事長 高岡 正

事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第19条の規定により、下記のとおり報告します。

記

1 助成対象事業

事業名	字幕つき落語と、耳が聞こえない・聞こえにくくても元気に楽しくしたたかに生きる講座
実施日時又は期間	平成19年3月10日(土) 13:30~16:00 四谷地域センター多目的ホールにて
対象者の範囲及び人数	協会員、非会員、新宿区民、落語愛好者、その他 計61人
事業内容	・講演(30分) ・字幕つき落語 落語：社団法人 落語芸術協会(新宿区西新宿) 字幕作成及び表示： 特定非営利活動法人 全国要約筆記問題研究会東京支部 (支部長は新宿区荒木町在住、東京事務所は新宿区市谷台町)
具体的な活動状況	・落語協会と、字幕作成者との打ち合わせ(1/16)及びリハーサル2回(2/6、20) ・講演「耳が聞こえない・聞こえにくくても元気に楽しくしたたかに生きる」高岡正(当会理事長) ・字幕つき落語「代り目」「つる」 ・南京玉簾 ・太神楽曲芸 ・二人羽織
事業の成果	当初の予想(50人)を超える人が集まってくれた。また、非会員の参加も多かった。 参加者の感想からは、「聞こえなくなっから久々に笑った」「大きい字幕で読みやすかった」などの声が聞かれた。 高齢者も含めた中途失聴・難聴者に、笑って元気が出る講座を提供し、ともに楽しむことができた。

2 助成対象事業費内訳（実績）

内訳は、できるだけ「単価×数量」で示してください。

1万円以上のものについては、領収書（写し可）を添付してください。

収入	経費	積算根拠（内訳）		金額
	団体負担金			153,162円
	参加費・資料代等	@500×61人		30,500円
	その他の収入			0円
	協働推進基金助成金	助成金申請額	150,000円	
	計			333,662円
支出（助成の対象になる事業費の内訳）	費目	決算額	内訳	
	会議費	11,660円	会場使用料 11,600(当日、打ち合わせ1、リハーサル2) コピー代 60	
	宣伝費	13,981円	インク代 8,759、紙代 4,914、印刷代 308	
	リース費	0円		
	消耗品費	15,684円	靴袋 210、封筒 7,347、発送用宛名シール 8,127	
	謝礼	232,000円	落語協会 90,000(打ち合わせ、リハーサル2回を含む) 字幕作成 82,000(打ち合わせ、リハーサル2回を含む) 手話通訳 15,000(打ち合わせを含む) 要約筆記 24,000、機材運搬謝礼 6,000 講師 10,000、ループ業者 5,000	
	材料費	4,134円	テーブルタップ 2,580、ハブ 1,554	
	交通費	14,830円	機材運搬費 12,930 チラシ配布等 1,900	
	その他諸経費	13,240円	振込手数料 970、郵送料 5,790、 記録用デジカメ I C メモリ等 6,480、	
助成対象事業費（小計）	305,529円			
余剰金	円			
助成対象外事業費	28,133円	弁当代 9,030、お茶代 1,703、受付用机 11,800、 プロジェクタ鍵開け 5600		
事業総額		333,662円		

3 助成事業の成果と課題

評価のポイント	自己評価
事業を計画した当初に決めた課題について、どこまで達成できたか。	聞こえないことで「笑いの場」から遠ざかっていた人たちに、主催者が字幕や通訳等を用意することで落語や演芸も楽しんでいただけた。当初の予想50人を越える61人に来場いただいた。
地域にどのような効果があったか、又は今後見込まれる効果は何か。	アンケートを回収した中には、区報を見ての来場者はいなかったようだが、区内の聴覚障害者の参加が多くあった。
新たに気づいた課題は何か。	聞こえないために、日ごろ笑いから遠ざかっている人が意外と多いことがわかった。また、落語芸術協会の方々は外国での日本語字幕付けの経験をお持ちであることがわかった。今回、このノウハウを生かしているいろいろアドバイスもいただいたので今後役に立てたい。
理解者や支援者が広がったか。	西新宿の落語芸術協会、市谷台町に東京事務所を構える全国要約筆記問題研究会の東京支部との連携ができた。後者は今回初めて落語に字幕を付ける作業を経験、今後も取り組んでいきたいと意欲的である。
事務局の執行体制は十分だったか。	事務局中心に執行した。協会の中では、要約筆記対策部に運営面の協力を求め準備、当日も担当した。区在住の会員は高齢者が多いため、協力要請ができなかった。
今回の事業を発展させた新たな事業としてどのような事業が考えられるか。	参加者の要望の中には、音楽や芝居、というものもあった。聞こえないからとあきらめていたこれらの鑑賞も、提供する側の配慮しだいで楽しめるということを示す企画を、今後考えたい。
その他	

4 活動の成果

* 事業の成果物(冊子など)又は、事業の開催時の写真など提出できるものがある場合は添付してください。

* 参加者の意見なども報告してください。

- ・ 当日配布資料
- ・ ポスター
- ・ 写真
- ・ アンケート集計